

令和4年度 環境局経営方針

一般会計要求総額

15,754百万円

(対前年比 +20.8%)

脱炭素を実現し、環境と経済の好循環を生み出すため、CE（サーキュラーエコノミー）のビジネスモデルを導入した施策を展開し、本市の都市競争力を高めます。

令和4年度 予算の基本的な考え方

(新)：新規事業 (継)：継続事業 (拡)：拡充事業

① 脱炭素社会に向けたグリーン成長の実現

脱炭素化を軸に、都市や企業の競争力を高め、快適で強靱性のある、誰もが暮らしやすい社会づくりを目指します

- (新) 脱炭素社会の実現に向けた“再エネ100%北九州モデル”推進事業
- (新) カーシェアリング等の導入による公用車の電動化推進事業
- (拡) 北九州市風力発電人材育成事業
- (継) 北九州水素プロジェクト創出事業
- (新) 環境イノベーション促進事業



バージ型浮体式洋上風力(提供:NEDO)

② 循環型社会づくりの推進

廃棄物の適正処理、3Rの更なる推進によって、持続可能な社会づくりを目指します

- (拡) 北九州市プラスチックスマート推進事業
- (拡) 食品ロス・生ごみ削減対策事業
- (新) AIによる搬入不適ごみ検知システムの導入



「残しま宣言応援店」に掲示しているステッカー

③ 海外における脱炭素を通じた環境国際ビジネスの推進

市内企業の海外展開を促進し、アジア地域の環境改善と本市の都市競争力の向上を目指します

- (継) ホラシスアジアミーティング開催事業
- (拡) サステナブル環境ビジネス展開事業
- (継) アジアにおける廃プラスチック対策プロジェクト推進事業



医療廃棄物処理施設(インドネシア・スラバヤ市)
(提供:(株)ビートルエンジニアリング)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和4年度に実施することが確定しているものではありません。